

GPA制度について(学生用説明文)

H19. 4 大学教育委員会

改訂 H21. 4 大学教育委員会

改訂 H27. 3 教育委員会



佐賀大学では平成 19 年度から学部にも、また、平成20年度から大学院にもGPA制度を導入しています。GPAとは Grade Point Average の略で、もともとアメリカで一般的に行われている学生の成績評価方法の一つで、学生一人の履修科目の成績の平均を数値で表すものです。従来日本の大学で行われてきた「優、良、可、不可」といった大まかな成績評価に比べて、GPAによる成績評価は、学生が自分の履修状況をより客観的に把握でき、教員にとってもよりきめ細かな履修指導ができるということ、また教育の国際化という観点からも、最近日本でもこの制度を導入する大学が増えています。以下佐賀大学におけるGPAについて簡単に説明します。

1. GPAは、学生が履修した各科目の評価に一定のGPを与え、このGPにその科目の単位数を乗じ、その合計を履修科目の総単位数で割って算出します。GPAの対象となる科目は、教養教育科目、専門教育科目、教職に関する科目の中で、5段階評価によって成績を認定された科目とし、5段階評価のそれぞれに次のGPを与えます。

成績評価	GP	合否
秀 (90~100点)	4.0	合格
優 (80~89点)	3.0	合格
良 (70~79点)	2.0	合格
可 (60~69点)	1.0	合格
不可 (60点未満)	0	不合格

※【5段階評価によって認定された全ての授業科目がGPAの対象。】

2. GPAは学期ごとに算出したもの(=学期ごとGPA)と、各学期を通算したもの(=通算GPA)があり、その計算方法は次のとおりです。計算値は、小数点以下第2位を四捨五入して表記します。

学期ごとGPA

$$\frac{(\text{当該学期に評価を受けた科目で得たGP}) \times (\text{当該科目の単位数}) \text{の合計}}{\text{当該学期に評価を受けた科目の単位数の合計}}$$

通算GPA

$$\frac{[(\text{各学期に評価を受けた科目で得たGP}) \times (\text{当該科目の単位数}) \text{の合計}] \text{の総和}}{(\text{各学期に評価を受けた科目の単位数の合計}) \text{の総和}}$$

※【学期ごとGPA及び通算GPAを算出】

3. 「不可」の評価を受けた場合、その科目のGPは0となり、GPAが下がることに注意してください。

また、不正行為により無効とされた成績は不可として扱われます。ただし、不可と評価され、後に再履修等により合格になった科目については、合格時点の評価のGP及び単位が算入され、以前のGPは計算式から除外されます。

※【不可は、GP=0。不正も0。再履修で合格の場合は、不可を計算式から除外。】

4. GPAは、各学期末に学生の学業成績通知書に記載されます。 GPAにより自分の学習状況を数値で客観的に知り、明確な方向性を持って次の学期の履修計画を立てるなど、積極的に活用してください。特に、履修登録をしたすべての科目の成績がGPAに反映されるので、学生はシラバス等を参照して、慎重に履修登録を行うことが必要です。 学部・学科等によっては、GPAが高い学生を表彰したり、逆に、低い学生を特別に履修指導するというようなことに利用するところがあります。また、一定のGPAを進級のハードルとしている学部・学科、研究室やゼミの配属決定の場合にGPAの高い学生が優先される学部・学科もあります。

※【GPAは、成績通知書に記載。留学等で成績証明書へのGPAの記載が必要な場合については、別途対応】

